



愛知県教育委員会教育長 様

2017年7月25日

愛知県立高校への、道、学校内外、周辺の安全・安心のための対応、対策を求める請願

住所

氏名

宮崎邦彦

1 請願の趣旨

- (1) 2017年7月21日、守山高校へ出向く。ゆとりーとラインで、中志段味で下車して、守山高校へ行く。守山高校案内図(資料1)赤線のようにいく。この地図にはない、道を通って東口から学校に入りました。
- (2) 後で聞くと、木に覆われた、狭い道を通ったことを伝えたら、「けもの道・・・を」ということでした。この狭い道で、以前生徒が、襲われたとのことでした。
- (3) 学校としては生徒には、使わないように言っているようですが、地元の人には使っているとのことでした。道を使わせないということはできないということです。道があり、犯罪のおそれ等が想定される場合は、行政としては、道を広くするとか、防犯カメラ類を設置するとか、道を通る場合の注意を看板でするとか、警察の巡回を依頼するなどの、行政としてできることを、早急にする必要があるといえる。今回の請願の理由である。
- (4) 請願人は、中志段味を降りて、少しでも早く学校に向かうために、「けもの道」といわれた道を選びました。以前一度この道を通った記憶からこの道を選びました。暑い中、少しでも早く学校へ、暑くない道を選択したら、土地勘のないものにとっては、オーバーかもしれないが、怖い道でした。大雨の日もこの道を選択したかもしれない。何かの理由でこの道を選択する場合があるということである。
- (5) 同じような道は、御津高校へ行った時も感じました。御津高校については、「300メートル迂回」することになるという回答ですが(資料2)請願者は、地図から、できるだけ短い距離を行きたいということから、山道を選択しました。相当長い山道で林の中を歩き、そして驚いたということでした。確かに、学校への矢印もあったと記憶しています。
- (6) 子供の数が増えた時に、全部の学校がそうであるとはいえないかもしれないが、学校設置のために、広い場所が必要なことはわかりますが、安易に、「安全、安心、そして交通の便が良い場所」に反したところ選ばれてきたことに問題があったのではないかと思います。今後行政として学校等の設置、統廃合においては、安心安全、交通の便、生徒のことを考えた対応をお願いしたい。
- (7) 守山高校で、職員会の日が、外部に判ったら、不審者を招きかねないという教頭の心配を聞きました。会議の時に職員が、会議室に集まっていて、その他の場所に職員が居なくなるということが、外部の人にわかると、侵入されることで(あるかもしれないということ)よくないということである。これまでの経験等を

踏まえて言われているようで、学校の場所の周辺が、さびいしいところであるということは、危機管理ということからすると、学校として相当気を使うということであるということを感じました。守山高校では、部活動の生徒に対して保護者が車で迎えに来るといふこともお聞きしました。当然生徒の安全のため。それに合わせて不審者が、凶器を持ってはいつてきたらという想定もされていました。請願者も、建物内に刃物を持った人が、侵入したら、ということ想定して、探知機を設置したらということ、名古屋市の学校に提言したことがありました。建物のどこに設置するのか、果たして、予算的にどのくらいかかるかは、探知機等の値段がわからないので、すぐにできるのかどうかは、明言できないことです。しかし、これに代わるかどうかは不明であるが、「防犯カメラ、夜間暗視機能のあるもの」類、「ボイスレコーダー」類「センサーライト」類「防犯フェンス」の整備。これらの、設備については、専門家に確認して設置等が求められる。

- (8) また、守山高校の東南側のフェンスは、破れている部分の補修がなされていた。ただフェンスが張られているだけということではないが、土台から含め、相当頑丈でないと、名古屋市の例をいうと（高校では）、内部からの破損ということもありました。ここからは出入ができないというような気持ちにさせるような塀とフェンスでないと不審者の侵入が防げないということである。学校だけにフェンス等の補修を任せておけばいいということではなく、破りにくい、破られない、フェンス等の設置をする義務が行政にはあるということである。危ない道を、日ごろ使わないように生徒には、ということ、行政、大人の言い訳でしかない。事故事件があつてからでは、責任の取りようがない。2008年5月2日、豊田市生駒町で、女子生徒殺害されるという事件が起きました。部活動を終えて自転車で帰宅途中の高校生です。現在もこの事件の犯人は明らかになっていません。解決していません。

## 2 請願事項

- 1 学校周辺の道路について、安全に人が行き来できる環境を整備する事。既存の道路の安全安心のための整備を行うこと。
- 2 学校フェンスについて、外から侵入しやすいフェンスではなく、強固なフェンス等を整備する事。
- 3 学校侵入者対策として、防犯カメラ類、刃物探知機類、センサーライト類、等を設置する事。警察等への巡回（の増加）の依頼をすること。
- 4 今後、人気の少ない、ところと思われる場所に学校設置をしないこと。今後の統廃合においても、安全安心、交通の便のいい場所に設置をすること。
- 5 各学校、部活動時間の合理化と、完全下校（全生徒の下校）を早くすること。

添付資料 1 守山高校案内図

資料 2 質問と回答



## 質問書①

2017年2月28日

愛知県教育委員会様

行政を考える住民の会 事務局 宮崎邦彦

〒

## 質問書

2017年1月28日報道「昼間定時制高校・・・」、に関する質問をします。

「御津高校も設ける準備・・・」ということについて質問をします。

先日、御津高校に行きました。山を越えて行く、それなりに時間もかかる、ということを知っていました。名鉄国府駅を降り歩きました。山を越えるということでしたが、御津中学校のそばを通り、御津高校への案内板を頼りに坂道を上り歩きました。坂道はそれほど厳しくはなかったのですが、もし藪の中に連れ込まれたら、と思うと怖くなってきました。ほとんど、車も、人も通らない道でした。(車は2台すれ違いました。)

生徒の通学道路としては、天気の良い日なら、いいかな、と思いましたが、じかしながら、安心安全という観点から見たら、少ない車にも、気を使いましたし、危害等の被害にあったらということをおもったら大変不安でした。

学校としては、生徒にはこの道路は使わないようにということでしたが、そうすると、少々遠回りということになります。どのくらいの時間がかかるか不明。初めて行くときは、御津高校への案内標識で行きました。

生徒が通うとしては、交通の便から、難がありそうな学校ではないかと感じました。自宅が遠い生徒にとっては、駅から、自転車が必要です。

## 質問事項

- 1 御津高校が、昼間定時制課程をとということになった経緯を教えてください。
- 2 またその、大きな要因は何ですか。
- 3 御津中学校に併設等、という選択肢はなかったのでしょうか。なかったとしたらその理由を教えてください。(山道の入り口にある学校)
- 4 御津高校への、通学経路等について、調査されましたか、その結果についての検証結果を教えてください。保護者等のことも、配慮されていると思いますが、そのことも含めてお答えください。
- 5 昼間定時制について、最終的に、通学路について、貴職は、実際に、検証、調査のために歩いて確認するお考えはないですか、

回答は質問書の月日を記載し、文書で2週間以内をお願いします。

回答は、会宛をお願いします。

回答は事実関係に基づいてお答えください。

2017 年 2 月 28 日質問書①への回答について

1 質問事項 1 について

〔御津高校が、昼間定時制課程をとということになった経緯を教えてください。〕

「県立高等学校教育推進基本計画（高等学校将来ビジョン）」（平成 27 年 3 月 24 日）に基づく、「県立高等学校教育推進実施計画（第 1 期）」（平成 28 年 2 月）において、昼間定時制課程を御津高校に併設することを検討するとしました。

2 質問事項 2 について

〔またその、大きな要因は何ですか。〕

昼間定時制課程を県内全域にバランスよく配置することや、昼間定時制課程を併設できる学校規模等を考慮した結果です。

3 質問事項 3 について

〔御津中学校に併設等、という選択肢はなかったのでしょうか。なかったとしたらその理由を教えてください。（山道の入り口にある学校）〕

設置者が異なるため、中学校への併設については検討しておりません。

4 質問事項 4 について

〔御津高校への、通学経路等について、調査されましたか、その結果についての検証結果を教えてください。保護者等のことも、配慮されていると思いますが、そのことも含めてお答えください。〕

現在、名鉄国府駅を利用する御津高校の生徒は山を迂回するルートで登下校しています。300メートル程迂回することになりますが、この経路は幅員も十分で、民家の間を抜ける生活道路であるため、通学路としては安全であり、保護者の理解も得られています。

5 質問事項 5 について

〔昼間定時制について、最終的に、通学路について、貴職は、実際に、検証、調査のために歩いて確認するお考えはないですか。〕

通学路については学校関係者等からの聞き取り等により確認していますが、今後も必要に応じて実地踏査を行うなど情報収集をまいります。